



# 寄らば斬るぞ！ 新国劇と剣劇の世界！



2014年10月1日[水]より  
2015年2月4日[水]まで  
早稲田大学坪内博士記念演劇博物館  
企画展示室I・II  
開館時間 ● 10時～17時（火・金曜日は19時まで）  
休館日 ● 10月15日[水]・10月31日[金]・12月17日[水]・  
12月23日[火]～1月7日[水]・11日[日]・12月1日[水]・  
主催 ● 早稲田大学演劇博物館 協力 ● 劇団若獅子  
入場無料



enpaku  
早稲田大学演劇博物館



関連  
演劇講座



劇団若獅子公演

『極付国定忠治』『殺陣田村』

2014年11月19日(水) 15時~18時終了予定(14時開場)

早稲田大学大隈大講堂(定員1000名) 入場無料/事前申込制

新国劇の解散後も劇団の精神を守るべく活動を続ける笠原章氏(1969年新国劇入団)と同志の皆様、新国劇の代表的な演目『極付国定忠治』(行友季風・作)と殺陣の芸術性を追求した『殺陣田村』(澤田正二郎・立案を演じていただきます。日本演劇史に残る貴重な機会をお見逃しなく！

寄らば斬るぞ！  
新国劇と剣劇の世界！



日本の20世紀、それは  
チャンバラ=剣劇の世紀でした

剣劇はジャンルやメディアを超え、ジエンダーやイデオロギーを超え、ときには国境さえも超え、人々を熱狂の渦中に巻き込みました。そして、剣劇の歴史を振り返る際に忘れてはならない存在が、俳優の澤田正二郎が創立し、演劇博物館との縁も深い劇団「新国劇」(1917・87年)です。

本展では、翻訳劇や歴史劇、宗教劇や歌舞伎劇など、多彩な演目に果敢に挑戦し続けた風雲児澤田と新国劇の多面性に新たな光を投じるとともに、演劇と映画における剣劇の魅力へと迫ります。大阪・道頓堀や東京・浅草が剣劇人気を育んだ大正時代は、民衆芸術論を背景にした大衆文芸の勃興期でもあります。「なぜ、人々は剣劇に熱狂するのか？」大衆文化の各方面に伏流する剣劇的なものを追跡します。



【申込方法 (HP または FAX)】10月1日 [水] より受付開始！

- 演劇博物館ホームページ  
詳細はHPをご覧ください 申込締切：11月18日 [火]
- FAX 03・5273・4398  
件名を「劇団若獅子公演 観覧申込」とし、①名前 ②電話番号 ③FAX番号をご記入の上、ご送信ください  
受付票をFAXにて返信いたしますので、当日ご提示ください  
申込締切：11月16日 [日]

\*お一人様につき一席、ご本人様のみ有効です  
\*先着順受付、定員になり次第締め切ります



早稲田大学  
坪内博士記念演劇博物館

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

☎ 03-5286-1829

✉ enpaku@list.waseda.jp

http://www.waseda.jp/enpaku/

https://www.facebook.com/WasedaU.ENPAKU

@waseda\_ENPAKU

● 東京メトロ東西線  
[早稲田] 駅下車 徒歩7分  
● 都電荒川線  
[早稲田] 駅下車 徒歩5分  
● JR山手線・西武新宿線  
[高田馬場] 駅(早稲田口)から  
都営バス [早大正門]行  
終点下車 徒歩2分

【表面】新国劇公演における澤田正二郎(右:『月形半平太』)  
/左:上より『新撰組』『羅馬の使者』『大菩薩峠』『キリスト』  
『国定忠治』

【裏面】a 大隈大講堂における新国劇公演(1929年)宣伝  
資料/b 澤田と坪内逍遙(左)(大隈庭園における『野外  
劇・高田馬場』[1924年]公演時)/c 市川右太衛門/d 林  
長二郎(長谷川一夫)/e 大江美智子/f 阪東妻三郎/g 映  
画『櫻田血染/雪』(1909年)より/h 『バチバチ小僧』(文・  
画:澤田正二郎 [巡業中の澤田が子息に宛てた絵葉書])よ  
り/i 『新水也空』(画:岡本一平)より